

ザ・プレミアム

「ロマノフ秘宝伝説 栄華を支えた女たち」

前編 サンクトペテルブルク

後編 クレムリン

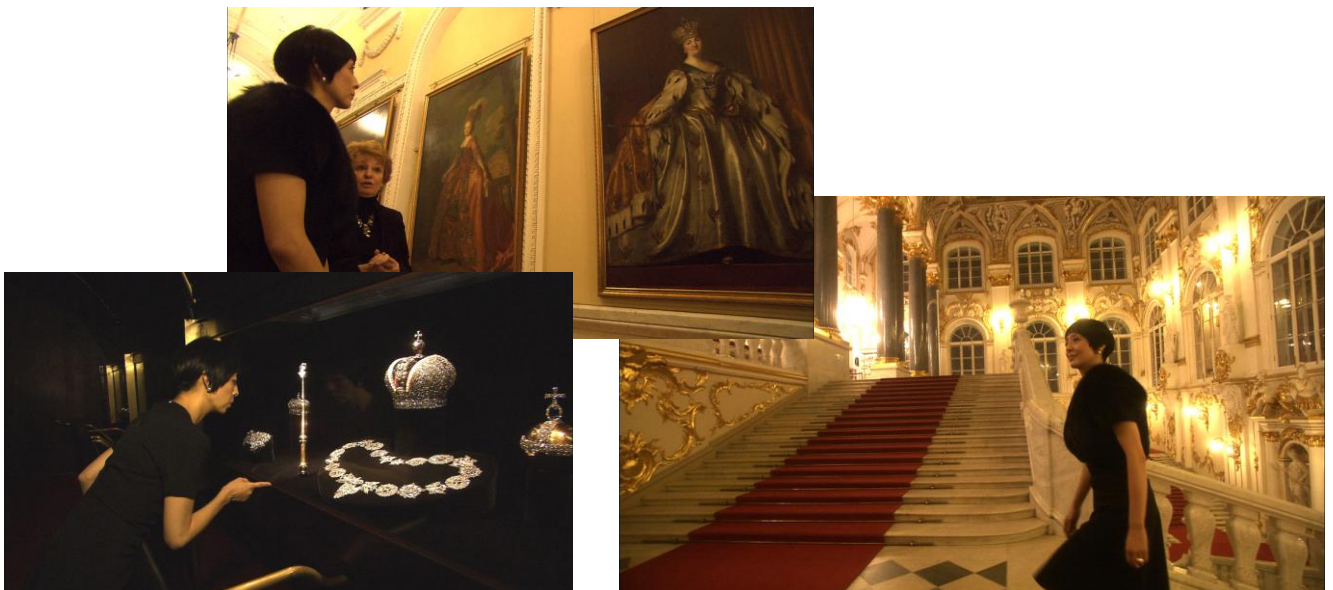


<放送> 2月7日、14日（土）後7：30～9：00

17世紀に始まり、絢爛豪華な宮廷文化を花開かせた、ロシアのロマノフ王朝。2013年に王朝誕生400周年、2014年には美の殿堂・エルミタージュ美術館の創設250周年を迎え、今あらためてロマノフへの関心が高まっている。

世界一富を蓄えた王朝といわれる、ロマノフ。一体どうやって栄華を極めたのか。そこには女帝や皇后など女性たちの存在が深く関わっていた。その秘密を探るのは、バレエの公演をきっかけにロシアに深い関心を寄せてきた女優・草刈民代。サンクトペテルブルクとモスクワ・クレムリンを舞台に、テレビ初公開となるテレムノイ宮殿の内観など、秘宝の全貌を取材する。

前編の舞台は、繁栄を誇った都・サンクトペテルブルク（旧ペテルブルク）。美の殿堂・エルミタージュ美術館を訪れた草刈は、傑作がずらりと並ぶ空間に圧倒される。その珠玉のコレクションの数々を収集したのが、女帝・エカチェリーナ2世だった。異国ドイツからロシア皇帝に嫁ぎ、夫をクーデターで倒し、自ら政治手腕をふるったエカチェリーナ2世。西洋の最先端を取り入れ、列強諸国に対抗した女帝が抱いた壮大な野望とは？



後編では、モスクワ・クレムリンに焦点を当てる。王朝の重要な儀式の場であったクレムリンでは、19世紀末最後の皇帝となるニコライ2世の戴冠式が行われ、その盛大なセレモニーは実に3週間にも及んだ。強諸国との緊張関係、さらに貧困に苦しむ国民を抱えて王朝は力を失っていたにもかかわらず、なぜ空前のセレモニーを催したのか。その陰には、皇后アレクサンドラを始め、王朝を守ろうとする女性たちの姿があった。

番組では、今回特別に撮影が許された秘宝の数々を紹介するとともに、女性たちの視点から、ロマノフ王朝の長期間にわたる繁栄とその終幕までの真相を探る。